



個人投資家様向けWEB IR

**不二製油グループ本社（証券コード：2607）**

**取締役 最高財務責任者(CFO)  
松本 智樹**

 **不二製油グループ本社株式会社**

# 会社概要

## 商号

不二製油グループ本社

## 設立

1950年10月

## 資本金

13,208 百万円

## 本社事務所

大阪市北区中之島

本店所在地（登記上）

大阪府泉佐野市住吉町

## 市場

東証1部(証券コード：2607)

## 連結従業員数

5,874 名 (※)

## 時価総額

約 2,666億円

(2021年3月12日終値3,045円)

(※) 国内は2020年3月末現在

海外は2019年12月末現在

2021年4月1日 代表取締役CEO 交代予定



現代表取締役CEO

**清水 洋史**

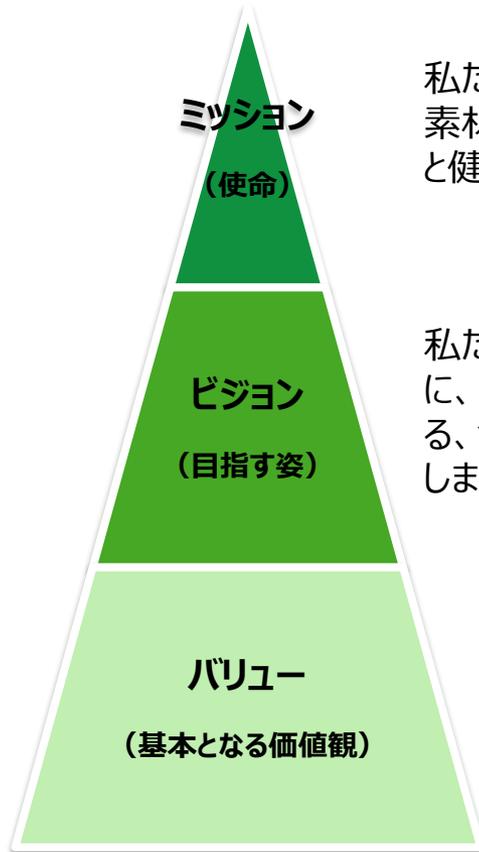


4月1日から就任予定  
代表取締役CEO

**酒井 幹夫**

# 経営理念

## 不二製油グループ憲法



ミッション  
(使命)

私たち不二製油グループは、食の素材の可能性を追求し、食の喜びと健康に貢献します。

ビジョン  
(目指す姿)

私たちは、油脂と大豆事業を中核に、おいしさと健康で社会に貢献する、食の未来創造カンパニーを目指します。

バリュー  
(基本となる価値観)

- ・安全と品質、環境
- ・人のために働く
- ・挑戦と革新
- ・スピードとタイミング

## ブランドプロミス

### Plant-Based Food Solutions

私たちは、植物原料がもつ無限の力を最大限に引き出し、おいしくお届けすることで、人も地球もより健康になれる世界を実現します。

世界的な人口増加、健康志向の拡大、高齢化への対応といった社会が直面する課題を 植物素材を用いた食の力で解決してまいります。

時代の半歩先を読みそれぞれに価値ある答えを創り出す、それが私たちの決意です。



# 不二製油のご紹介 / ビジネスモデル

主要原料

不二製油グループ

顧客

消費者



パーム油



カカオ



大豆

## 植物性油脂事業



食用加工油脂



チョコレート用油脂

## 業務用チョコレート事業



チョコレート

## 乳化・発酵素材事業



クリーム



マーガリン



フィリング

## 大豆加工素材事業



大豆たん白素材

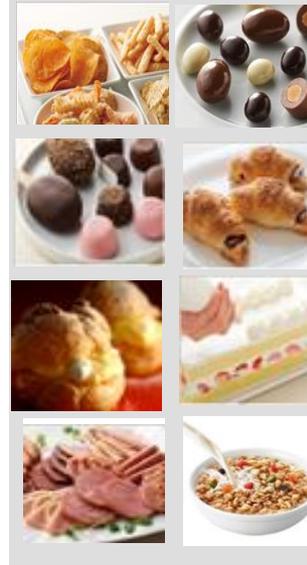


機能剤  
水溶性大豆多糖類

- ・食品メーカー
- ・飲料メーカー
- ・製菓メーカー
- ・製パンメーカー
- ・リテール
- ・外食チェーン
- ・学校給食
- ・医療機関

etc.

食のさまざまな  
シーンでおいしさ  
を提供する



**B to B の  
食品中間  
素材メーカー**

## 不二製油のご紹介 / 事業セグメント

- ・4つの事業セグメントを展開
- ・各セグメントでトップシェアを保有

### 植物性油脂

・チョコレート用油脂  
世界TOP3の一角



商品 : フライ用油脂、チョコレート用油脂

使用品 : チョコレート、スナック、即席麺、アイス、  
育児粉乳、飲料

シェア : チョコレート用油脂国内シェア1位

### 業務用チョコレート

・世界 No3



商品 : 業務用チョコレート

使用品 : チョコを使用した商品全般  
(チョコレート菓子、パン、アイス)

シェア : 国内シェア1位、グローバルシェア3位

### 乳化・発酵素材

・中国フィリング No1



商品 : クリーム、マーガリン、フィリング、調製品

使用品 : 洋菓子全般、パン、惣菜

シェア : 日本・東南アジア・中国を中心に展開  
中国 フィリング シェア1位

### 大豆加工素材

・大豆たんぱく素材 日本 No1  
・水溶性大豆多糖類 世界No1



商品 : 大豆たん白 (粉末・粒) 冷凍豆腐、がんもどき、  
油揚げ、水溶性大豆多糖類、ペプチド、豆乳

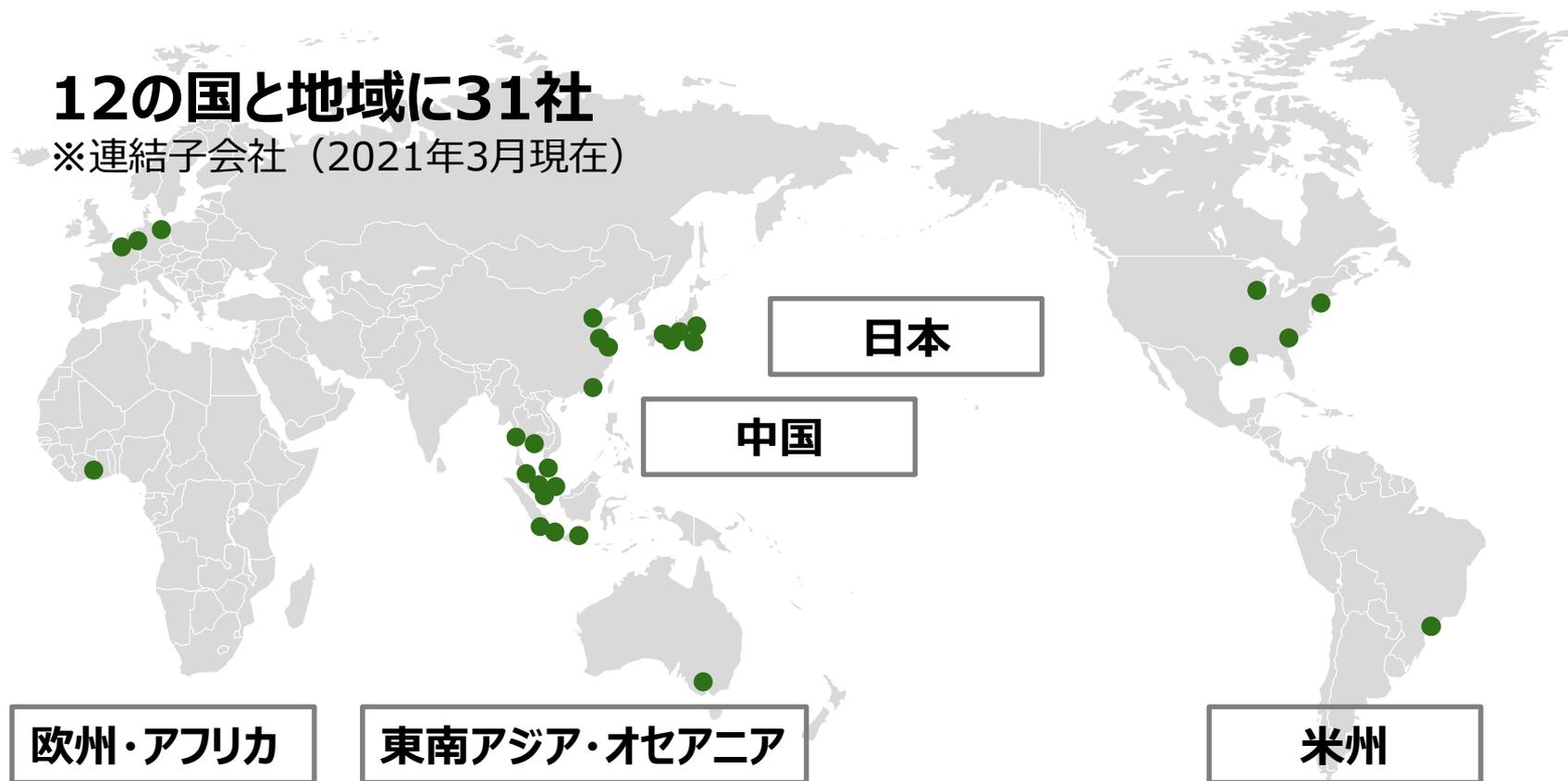
使用品 : お惣菜、プロテイン、健康栄養食品、  
エナジーバー、酸性乳飲料

シェア : 大豆たん白素材国内シェア1位

## 日本以外にもグローバルに展開

### 12の国と地域に31社

※連結子会社（2021年3月現在）



#### 欧州・アフリカ

ベルギー  
ドイツ  
ガーナ

#### 東南アジア・オセアニア

タイ インドネシア  
マレーシア  
シンガポール  
オーストラリア

#### 米州

アメリカ  
ブラジル

## 不二製油のご紹介 / 事業別・地域別概況

- ・業務用チョコレートが事業の柱に成長
- ・海外売上高比率は6割、日本も稼ぎ頭

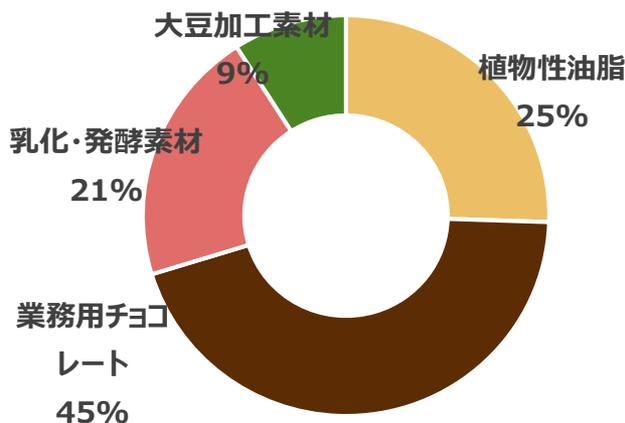
### 2019年度実績

\* 12か月調整後

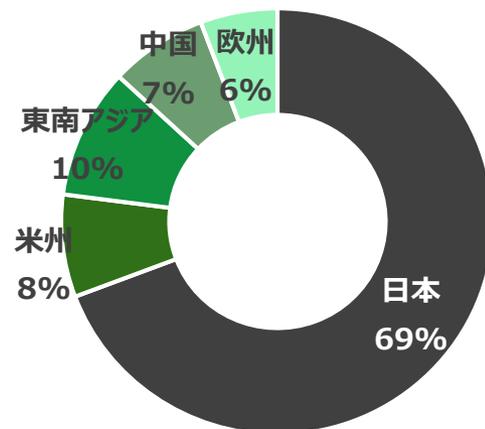
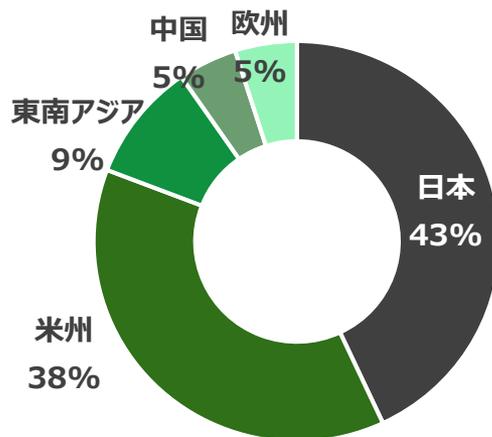
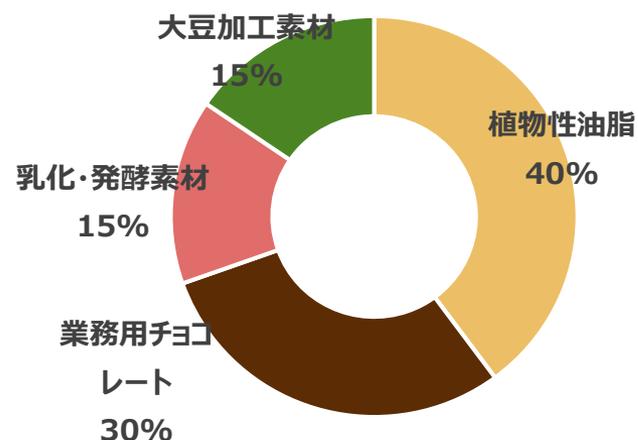
事業  
セグメント

所在地別  
セグメント

売上高 **3,837**億円



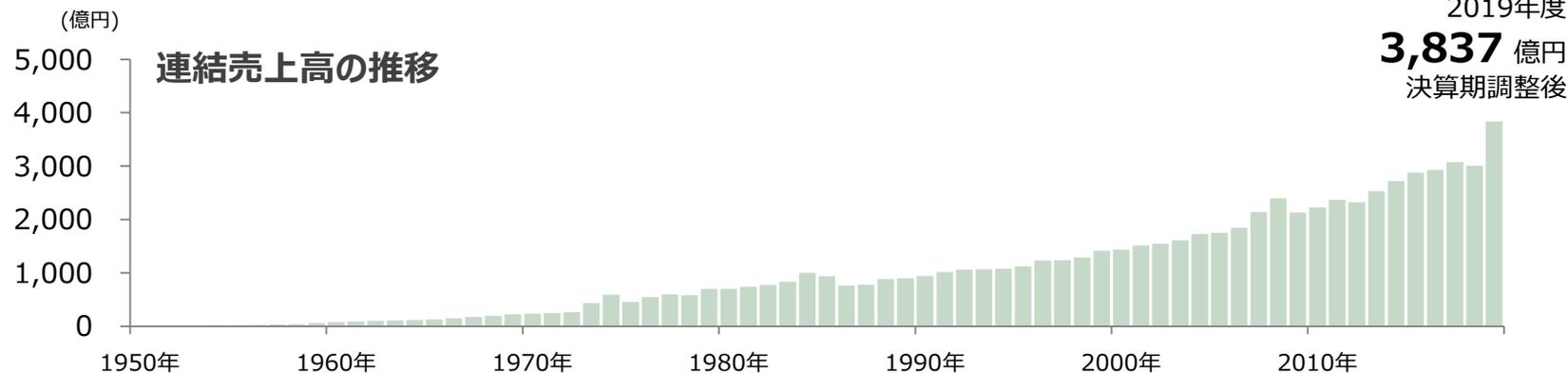
営業利益 **215**億円



※営業利益はグループ管理費用を除く構成比率

## 不二製油のご紹介 / 創業からの歩み

- ・1950年創業 油脂事業から垂直事業展開
- ・2000年代から海外の事業も拡大



### 創業期

1950

不二蚕糸の大阪工場が独立し不二製油(株) 設立



1955

日本初ハードバター（チョコレート用油脂）製造開始



### 技術黎明期

1971

阪南工場稼働（泉佐野市）



1980

酵素エステル交換技術（油脂生産の技術）確立



### グローバル整備期

1981

フジオイル(シンガポール)設立

1987

米国にフジベジタブルオイル設立

1992

ベルギーにフジオイルヨーロッパ設立

1995

中国に不二製油（張家港）設立



### グローバルビジネス拡大期

2015

グループ本社制へ移行  
ブラジルトップの業務用チョコレートメーカー ハラルド取得

2019

米国 第2位の業務用チョコレートメーカーブラマー取得



- ・原材料のサステナブル調達を推進
- ・CDP評価では日本初のAリスト入り

主原料を取り巻く人権・環境などの社会課題



サステナブル調達の推進

日本初、世界で**10社**



Aリストに選定  
気候変動対策、  
森林破壊対策、  
水セキュリティ対策  
のトリプルA評価

世界で上位**7%**



最高評価である  
「リーダーボード」に選出  
気候変動問題に対する企  
業のサプライチェーンへの働  
きかけを評価し、企業間連  
携を促進する指標

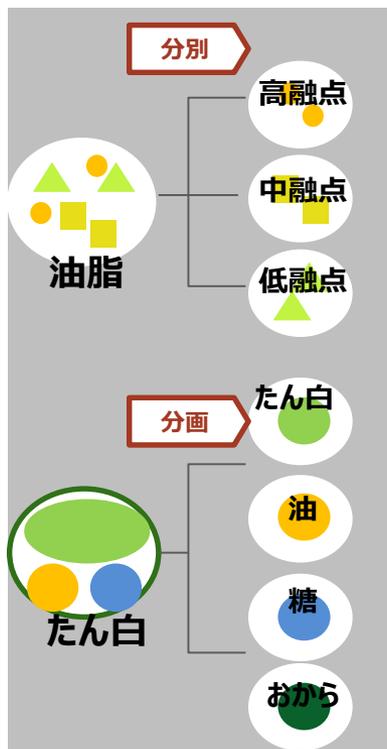
※CDPとは：温室効果ガスの排出削減、水資源の保護、森林の保護を  
企業や政府に働きかけている世界的な非営利団体

# 技術が高収益製品を生み出す

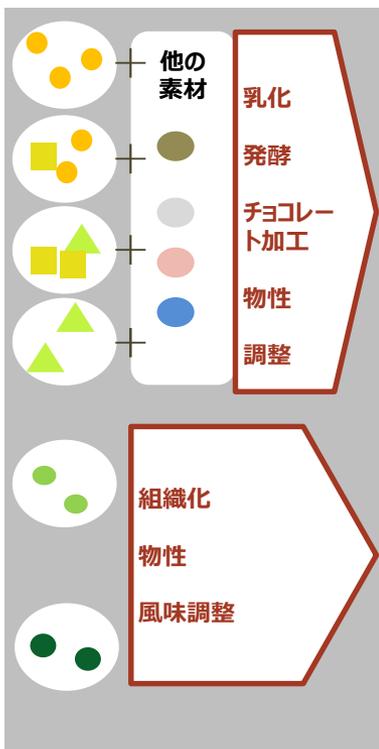
付加価値を上げていく

- ・高収益化
- ・ムダのない原料利用
- ・顧客提案力

## 分ける



## 組み立てる (再調整加工)



## 置き換える



無駄なく、高度有効利用  
= アップサイクルの考え方

# 顧客・消費者へのソリューション提案をグローバルに展開

## 未来創造研究所



## 素材開発



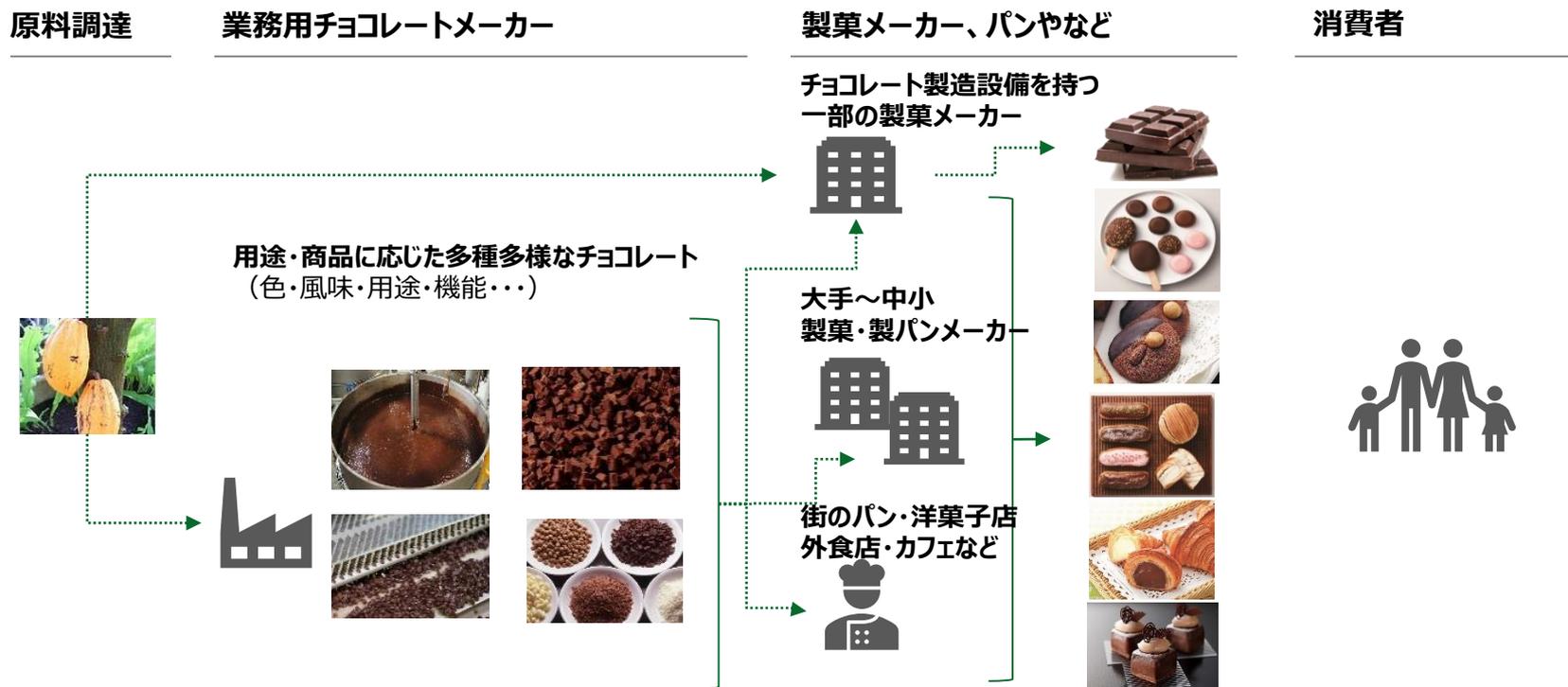
## 応用開発



- ① **業務用チョコレート事業をグローバルに拡大**
- ② 植物性の素材で新たな食の可能性を

## 業務用チョコレートとは

- ・チョコレートの製造には専用の設備が必要
- ・菓子メーカー等は自社の商品に必要なチョコレートの開発や生産を外部へ委託
- ・業務用チョコレートとは、そうしたB to C向けの商品に使用されるチョコレートを販売するB to Bのチョコレートビジネスを指す。



事業戦略のポイント ①業務用チョコレート事業をグローバルに拡大

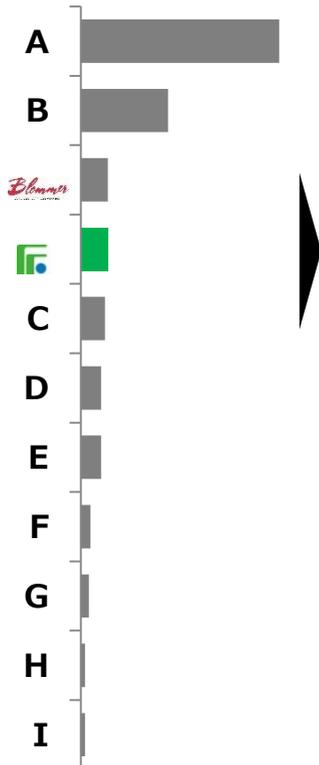
積極的なM&Aを実施、業務用チョコレートで世界No. 3に

従前

M&Aを加速し、業務用チョコレート事業を重点拡大

現在世界No 3

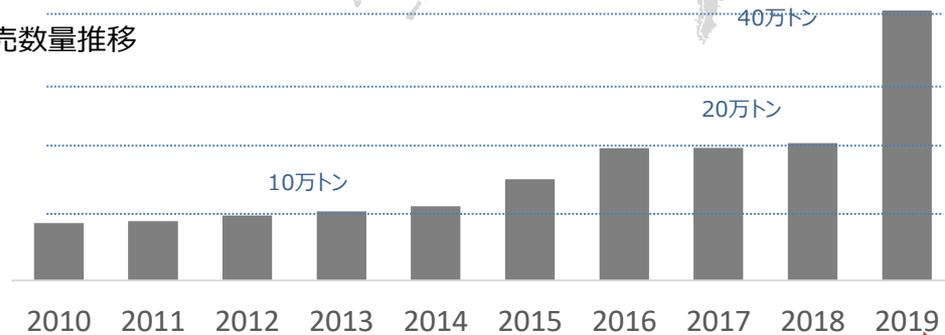
Othersのひとつ



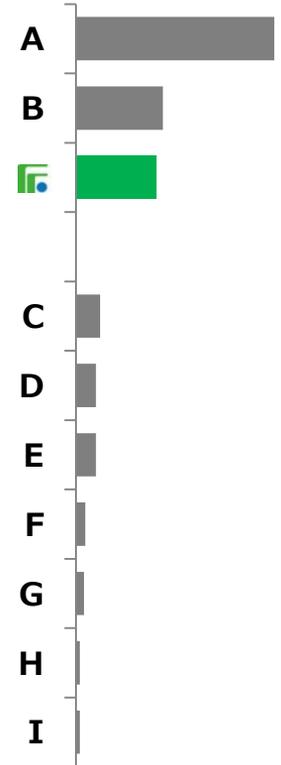
チョコレート製造拠点  
10か国16拠点に



販売数量推移

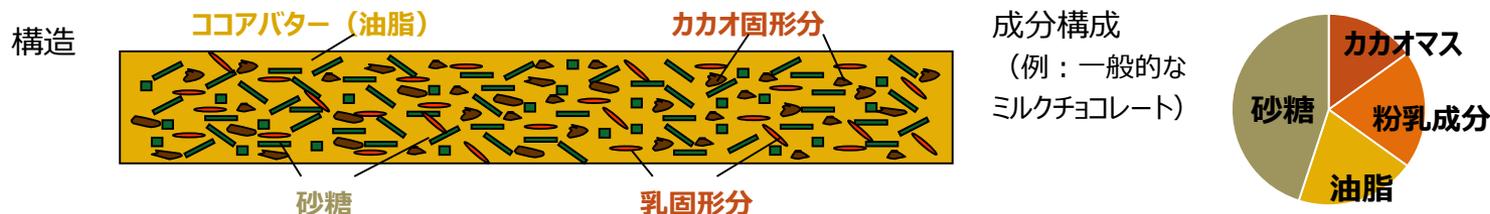


メインプレーヤー  
は3社にしぼられた



# 油脂の技術を生かしたコンパウンドチョコレートが強みのひとつ

- ✓ チョコレートとは、油脂の層に、砂糖・粉乳・カカオ固形分の微粒子が均一に分散したもの



- ✓ チョコレート菓子・パンなどの多くは**チョコレート用油脂**を用いた**コンパウンドチョコレート**を使用

ピュア  
チョコレート

カカオ原料  
+ 乳原料

+

砂糖

+

ココアバター



- ・チョコレート菓子・パンなどチョコレート使用食品の多くで使用
- ・チョコレート用油脂の種類・品質が最終商品の決め手になる

コンパウンド  
チョコレート

カカオ原料  
+ 乳原料

+

砂糖

+

チョコレート用油脂

CBE

CBS

CBR

Etc.



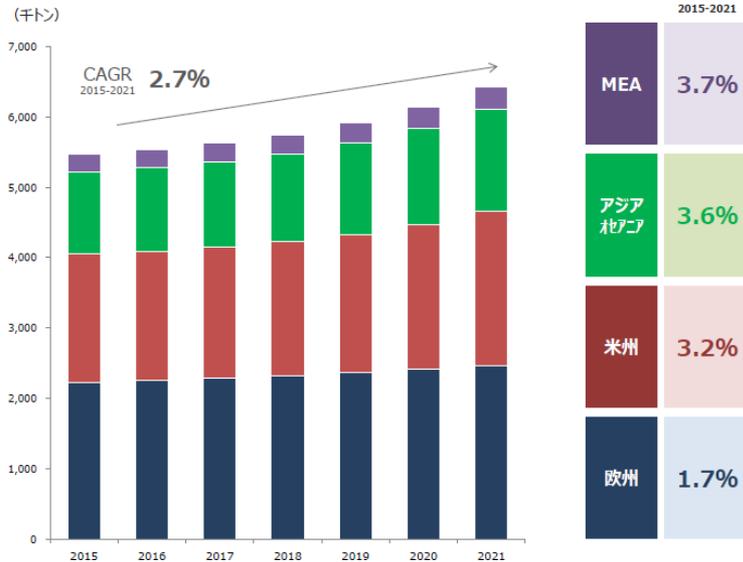
- ✓ 当社は**チョコレート用油脂の世界シェアはTop 3の一角**であり、**ノウハウを保有**  
**多種多様で機能・おいしさにすぐれたコンパウンドチョコレートに強み**

# 事業戦略のポイント ①業務用チョコレート事業をグローバルに拡大

## グループシナジーを活かし、グローバル各拠点で事業拡大を

### 業務用チョコレートマーケット（数量）

引用：Market Share of Industrial Chocolate 2017



### 成長機会は拡大

- ✓人口増による消費増
- ✓消費エリアの拡大によるコンパウンド需要増
- ✓嗜好の多様化によるコンパウンド需要増

### 収益の柱としてグローバル事業拡大を目指す

#### <個社の成長>

#### 個々のマーケットに合わせた差別化推進



技術・高付加価値



サステナブル  
健康



生産技術 生産性

#### <グローバル戦略>

#### グループインテグレーションを推進

- ・グローバル製品の企画・開発
- ・多国籍企業向け販売のためのグループ連携
- ・原料調達におけるシナジーの検討
- ・技術情報共有と生産性向上

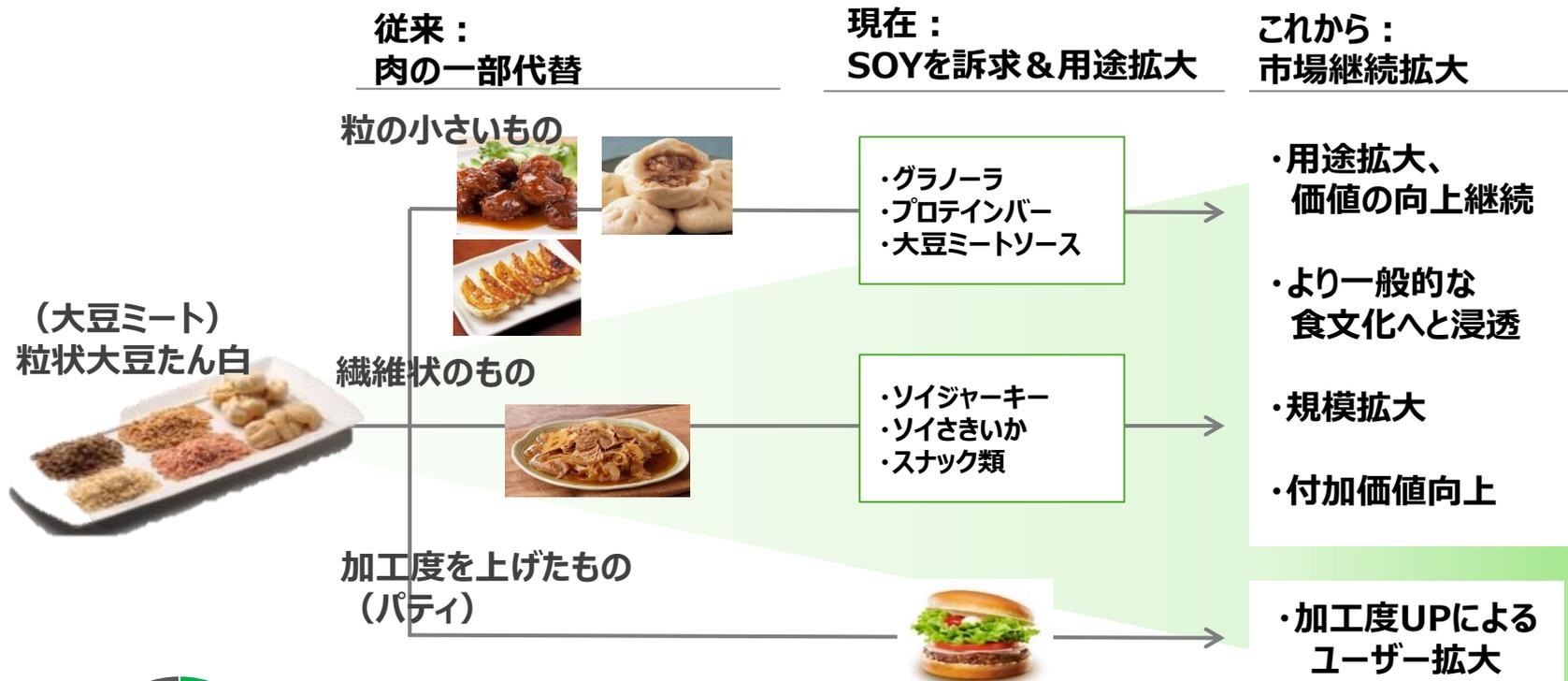
- ① 業務用チョコレート事業をグローバルに拡大
- ② 植物性の素材で新たな食の可能性を

# 大豆加工素材のパイオニア、トップシェア製品を多数保有

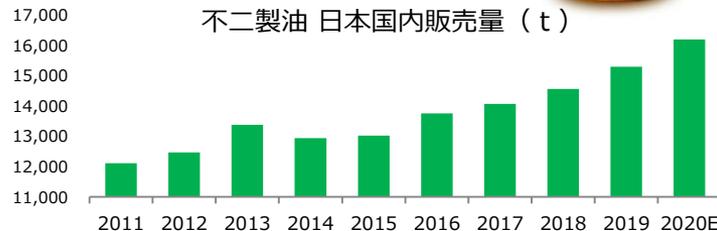
区分	製品群	製品	販売先	採用品イメージ	シェアなど
大豆たん白素材	粉末状分離大豆たん白		ハム・ソーセージ 水産練製品 健康食品 酒類		日本 シェア1位
	粒状大豆たん白		冷食、製パン、 製菓メーカー等		日本 シェア1位
大豆たん白食品	大豆たん白食品		生協 外食・産業給食 即席麺		
製法 USS	USS (加工品は 乳化・発酵素材部門)		加工食品、CVS 外食		世界初 特許技術
機能剤	水溶性大豆多糖類		酸性乳飲料 CVS 酒類		世界 シェア1位
	ペプチド		ビール系飲料 健康飲料		日本 シェア1位

事業戦略のポイント ②植物性の素材で新たな食の可能性を

- ・日本でも大豆ミートの需要は拡大、価値も向上
- ・大豆たん白素材（粒状大豆たん白）の設備を増強



不二製油  
シェア  
約5割



FY2020年  
新工場稼動  
キャパシティ  
約1.5倍に

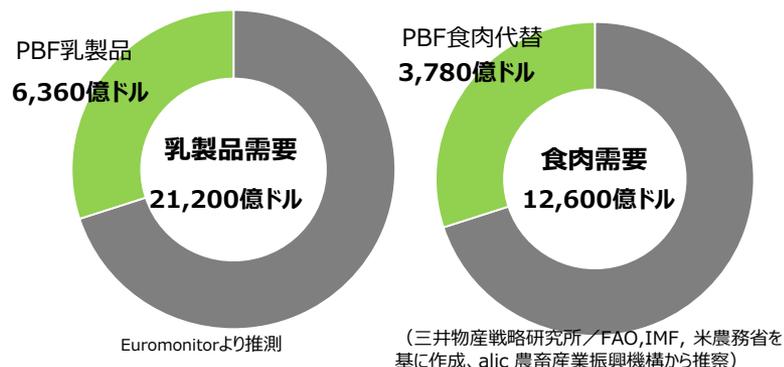


## 事業戦略のポイント ②植物性の素材で新たな食の可能性を

- ・植物性食の市場は拡大
- ・当社は固有技術の組み合わせでおいしさと健康を追求

### 植物性食市場は拡大が見込まれる

2050年  
世界のたん白源の1/3を植物性が占める



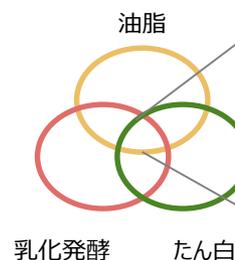
### 植物性食の利点

- ✓ 環境負荷の低減
- ✓ 動物性たん白源の枯渇に対し  
良質な植物性たんぱく質の提供 など

### 不二製油のアプローチ

- ✓ おいしく健康な植物性食品素材を展開
- ✓ 油脂・乳化発酵・大豆の技術を組み合わせ
- ✓ 様々な食品を植物性でおいしくすることを  
可能とするコア技術を開発

#### 技術の組み合わせ



・2021年2月 一風堂様  
動物性原料を使わない  
豚骨スープのラーメン



・2021年3月  
Plant Based Lifestyle  
Lab設立

市場創造のための15社の  
企業連合を立ち上げ

## 20年度(2021年3月期) 業績予想

	18年度実績 (19年3月期)	19年度実績 (20年3月期) 決算期調整※	20年度予想 (21年3月期)	19年度対 20年度増減
<b>売上高</b>	<b>3,008</b>	<b>3,837</b>	<b>3,600</b>	<b>▲237</b>
植物性油脂	1,061	979	945	▲34
業務用チョコレート	721	1,717	1625	▲92
乳化・発酵素材	865	793	685	▲108
大豆加工素材	361	347	345	▲2
<b>営業利益</b>	<b>185</b>	<b>215</b>	<b>165</b>	<b>▲50</b>
植物性油脂	78	101	73	▲28
業務用チョコレート	78	75	71	▲4
乳化・発酵素材	33	38	27	▲11
大豆加工素材	33	39	34	▲5
連結調整・ グループ管理費用	▲37	▲39	▲40	▲1
<b>営業利益率</b>	<b>6.2%</b>	<b>5.6%</b>	<b>4.6%</b>	-
<b>経常利益</b>	<b>182</b>	<b>203</b>	<b>153</b>	<b>▲50</b>
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>	<b>116</b>	<b>147</b>	<b>100</b>	<b>▲47</b>
<b>EBITDA</b>	<b>300</b>	-	<b>331</b>	-
<b>ROE</b>	<b>7.3%</b>	-	<b>6.4%</b>	-
<b>CCC</b> (キャッシュコンバージョンサイクル)	<b>105日※</b>	-	<b>104日</b>	-

2020年度の  
COVID-19の影響

## マイナス面

- ・観光業の需要減少
- ・生産稼働率の低下
- ・販売数量の減少
- ・営業の機会減少

## プラス面

- ・費用の減少
- ・巣籠需要
- ・健康志向需要

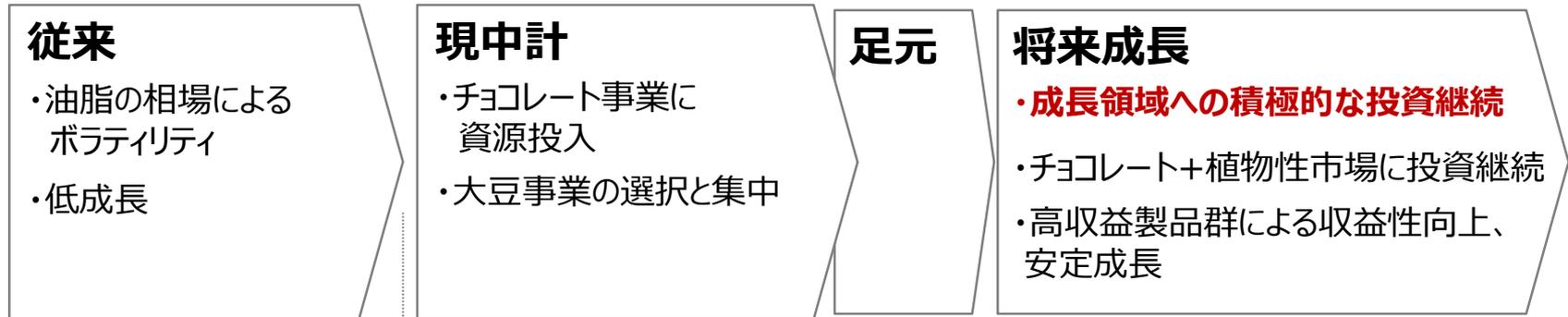
営業利益で62億円程度  
減少と見込む。

## 20年度

営業利益予想165億円

(※) CCC : 2018年度はブラマーのB/Sのみ連結、P/Lは未連結のためブラマーを除く既存事業数値を掲載  
19年度は子会社の決算期変更により12か月ベースに調整済み

# 成長領域への投資を継続し企業価値の向上を図る



パーム油相場で  
収益が左右される  
収益構造



大豆

植物性油脂+乳化・発酵素材

業務用チョコレート

M&A・グローバル  
戦略開始

構造改革

・COVID-19  
影響継続  
・パームなどの  
原料相場高

新事業群  
への投資

- ✓ 急拡大するPBF市場
- ✓ 組み合わせ技術で差別化
- ✓ 日本の市場創造とシェア確保

成長投資  
のリターン  
回収

- ✓ 米州油脂第2工場稼働
- ✓ 中国パン市場での販売拡大

投資リターン  
回収  
事業拡大

- ✓ ブラジル第2工場など、販売数量の向上と世界シェアアップ
- ✓ グローバル戦略の推進による差別化と収益性の向上

## ご参考 (直近株価・関連指標)

2021年3月12日時点の不二製油グループ本社（2607）株価

**3,045円（終値）**

21/3期会社予想PER	26.2倍
21/3期3Q末実績PBR	1.7 倍
21/3期会社予想配当利回り	1.7 %

（配当は上期実績26円、下期予想26円 の計52円を計画）

# 株価の推移

## 不二製油（2607）の株価推移

2021年3月12日終値  
3,045円



# 株主優待

## 株主優待（2020年度実績）



### 100株以上 1,000株未満

#### 送付内容

- ・棒チョコ 20本入り ×1箱
- ・ベジブレンド ×3本
- ・ハイ！調製豆乳 ×2本



### 1,000株以上 5,000株未満

#### 送付内容

- ・棒チョコ 20本入り ×1箱
- ・ヘルシーカカオシュガーレス ×1袋
- ・ベジブレンド ×3本



### 5,000株以上

#### 送付内容

- ・棒チョコ 20本入り ×1箱
- ・ヘルシーカカオドリンク ショコラプロテイン ×1袋
- ・ヘルシーカカオシュガーレス ×1袋
- ・ベジブレンド ×5本



 **不二製油グループ本社株式会社**

